

本県ものづくり産業に必要な施策の方向性についての主な論点（例）

1 とやま成長産業創造プロジェクトの推進 [骨子(案)第4章 1]

- ① IoTなど新たなイノベーション、県内企業の技術等も踏まえ、成長産業を一層発展させるためには、どのような取組みが考えられるか。
- ② 新たな成長産業と想定するヘルスケア分野について、本県の強みを活かすためには、具体的にどのようなプロジェクトが考えられるか。

2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出 [骨子(案)第4章 2]

- ① オープンイノベーションの手法を取り入れ、企業間連携や産学官連携を進めるにあたって、どのような点に留意すべきか。
- ② オープンイノベーションを担うコーディネータを養成していくにはどのような方策が考えられるか。
- ③ 各社に IoT を導入し、社内でのエンジニアリングチェーンの構築を促進するためには、どのような方策が考えられるか。
- ④ デザイン思考を普及するにはどのような取組みが必要か。
- ⑤ 「連携会議」に期待する役割は何か。

3 ものづくり人材の確保・育成 [骨子(案)第4章 3]

- ① リカレント教育（学び直し）に伴う従業員や企業の負担を軽減し、従業員のスキルアップを図るためには、どのような工夫、方策が考えられるか。
- ② IoT人材など高度技術人材を確保・育成するためには、どのような方策が考えられるか。

4 その他（新しい戦略のサブタイトルについて）

第4次産業革命の進展などにより、「ものづくり」のイメージが変化していることから、サブタイトルを付ければどうか。